

ナショナルチーム強化計画 2019年度

- シニアナショナルチーム -



(公財) 全日本空手道連盟選手強化委員会

※本計画 「ナショナルチーム選考基準」(H29.12.8施行)第5条(内定・決定と取り消し)に基づく「ナショナルチーム強化計画」である。

強化計画の要点

◇2019年ナショナルチームの条件

- ・WKFランキング(以下WKFランクとする)またはTOKYO2020スタンディング(以下オリンピックスタンディングとする)50位内(2019年1月1日時点)
- ・2019年1月から始動(12月末まで)
- ・2019年1月1日以降にWKFランクまたはオリンピックスタンディング50位以内に入った場合、翌日よりナショナルチーム選手と決定する

◇2019年プレミアリーグ(以下PLとする)の選手派遣と参加

- ・組手・・・WKFランクまたはオリンピックスタンディング10位内を派遣
 - ・形・・・オリンピックスタンディング10位内3名までを派遣(3名いない場合はWKFランク10位内上位から派遣)
- ※ランキングはそれぞれフェーズ1エントリー開始日を参照。
※上記以外の選手は原則自費参加
※フェーズ3のエントリーはWKFランキング100位内を認める(ナショナルチーム外でも)
※男女団体形は自由エントリー(ナショナルチーム外でも)

◇2019年シリーズA(以下SAとする)の選手派遣と参加

- ・2018年同様、ナショナルチーム内外とも自由エントリー
- ・男女団体形は自由エントリー(ナショナルチーム外でも)

◇2019年アジア選手権大会(7月19日～21日ウズベキスタン)選手派遣

- ・4月19日～21日のPLラバト大会終了時点でポイント計算を強化委員会で行い、組手はWKFランク、形はオリンピックスタンディングでトップ選手と2位選手に点差が1000点以上ある場合、トップ選手を代表とする。1000点以上の差が無い場合は、1000点差以内の選手を候補選手とし、PL上海メダル獲得上位者を代表とする。メダル獲得が無い場合は、6月1日時点のランキング(組手はWKFランク、形はオリンピックスタンディング)上位者を代表とする。

◇集中強化指定選手

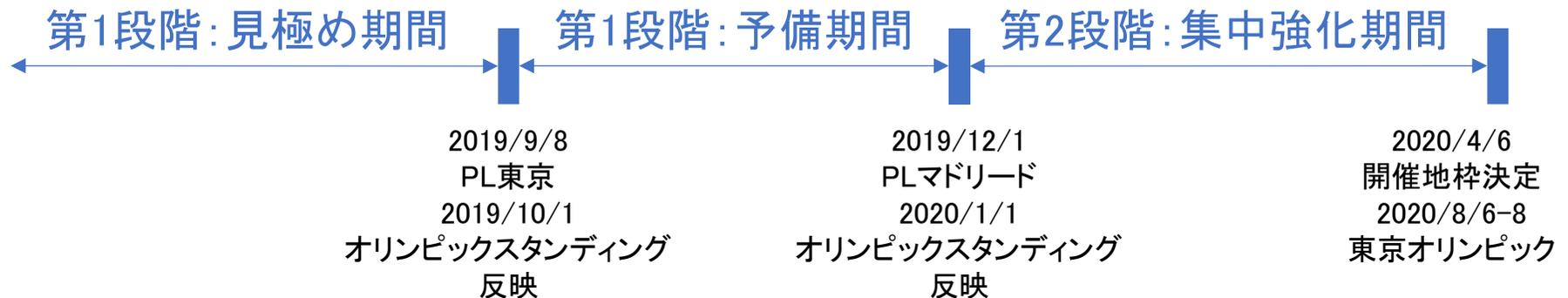
- ・2020年1月1日時点で、オリンピックスタンディング各階級上位2名の選手を「集中強化指定選手」として選定する。ただし、2019年9月開催PL東京終了後、10月1日時点でオリンピックスタンディングトップ選手と2位選手の点差が2000点(オリンピックスタンディング)以上の場合、10月1日時点でトップ選手を「集中強化指定選手」として選定する。

※日本は公平公正(WKFランクやオリンピックスタンディングをもとに)に競わせ、絞り込みを行い(集中強化する選手の早期決定)、できるだけ選手が疲弊せず、最高のコンディションで大会を迎えたい。

強化計画の考え方

2019年9月のPL東京までを見極め期間とし、WKFルールに則り大会参戦する。
2020年1月以降は集中強化期間とし、集中強化指定選手を選定する。

第1段階—見極め期間 : 2019年9月8日PL東京反映まで
第1段階—予備期間 : 2019年12月1日PLマドリード反映まで
第2段階—集中強化期間 : 2020年8月8日東京オリンピックまで



1/25-27 PLパリ 2/15-17 PLドバイ 3/2-3 SAザルツブルグ 4/19-21 PLラバト
5/17-19 SAイスタンブール 6/7-9 PL上海 6/21-23 SAモントリオール 9/6-8 PL東京
9/20-22 SAサンディアゴ 10/4-6 PLモスクア 11/29-12/1 PLマドリード

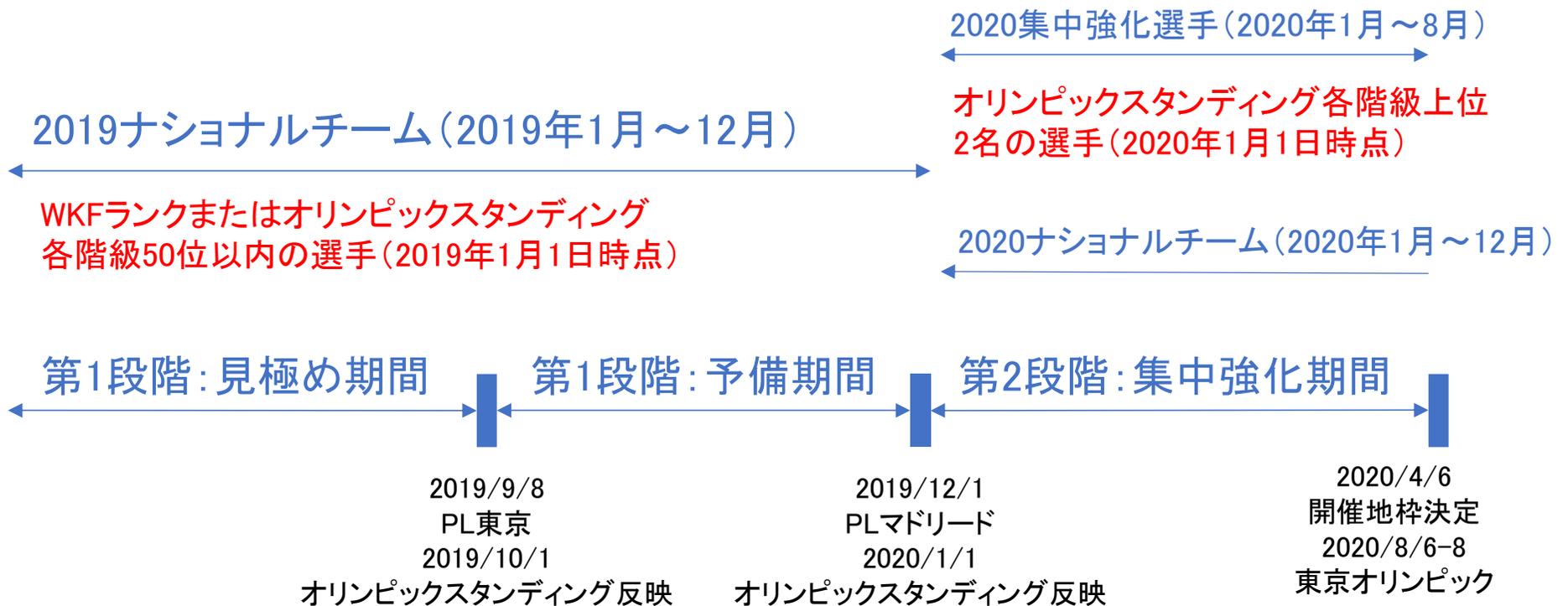
2019年ナショナルチームと集中強化指定選手

ナショナルチーム:

2019年1月1日時点で、WKFランクまたはオリンピックスタンディング各階級50位以内の選手

集中強化指定選手:

2020年1月1日時点で、オリンピックスタンディング各階級上位2名の選手

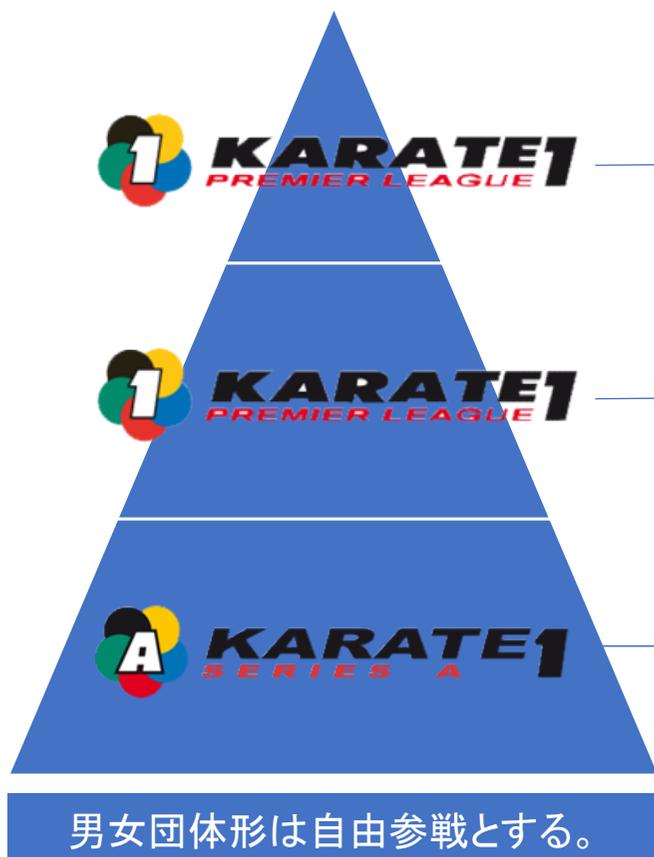


※2019年10月1日時点でトップ選手と2位選手の点差が2000点以上の場合、10月1日時点でトップ選手を集中強化指定選手に選定する。

※集中強化期間はオリンピック代表選手決定まで(2020年1月1日～4月6日)のPL、SAへの選手派遣は集中強化指定選手のみとし、他の選手はPL、SAに参加できない(ナショナルチーム、以外を問わず)。

8.国際大会派遣の考え方(PL、SAの場合)

見極め期間の選手派遣



PL・フェーズ1

ランキングを基に

選手強化委員会(シニア担当)で決定

※組手派遣対象者はWKFランクまたはオリンピックスタンディング10位以内。

※形派遣対象者はオリンピックスタンディング10位以内の上位3名。

1 10位以内に選手が3名いない場合はWKFランク上位者から派遣。

※ランキングはそれぞれフェーズ1エントリー開始日を参照。

PL・フェーズ3

WKFランク100位以内自由参戦

SA

自由参戦

1/25-27 PLパリ 2/15-17 PLドバイ 3/2-3 SAザルツブルグ 4/19-21 PLラバト
5/17-19 SAイスタンブール 6/7-9 PL上海 6/21-23 SAモントリオール 9/6-8 PL東京
9/20-22 SAサンディアゴ 10/4-6 PLモスクア 11/29-12/1 PLマドリード

9.国際大会派遣の考え方(アジア選手権大会の場合)

アジア選手権大会の選手派遣



7月19日～21日 アジア選手権大会

7月19日～21日にウズベキスタンで開催

- 1.オリンピックスタンディングにポイントが100%反映される
- 2.出場できるのは各階級1名のみ

アジア選手権大会代表選考

4月19日～21日のPLラバト大会終了時点でポイント計算を強化委員会で行い、組手はWKFランク、形はオリンピックスタンディングでトップ選手と2位選手に点差が1000点以上ある場合、トップ選手を代表とする。1000点以上の差が無い場合は、1000点差以内の選手を候補選手とし、PL上海メダル獲得上位者を代表とする。メダル獲得が無い場合は、6月1日時点のランキング(組手はWKFランク、形はオリンピックスタンディング)上位者を代表とする。